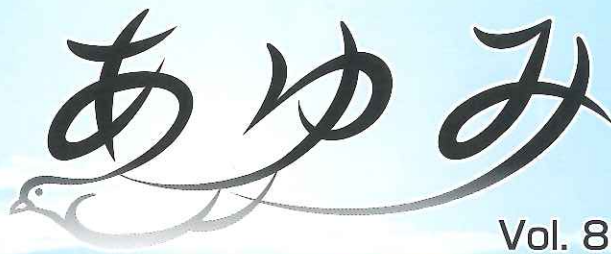


《新年号》

2023. 1. 15



Vol. 82

<発行>

社会福祉法人大阪府肢体不自由者協会
大阪府肢体不自由児者父母の会連合会
〒540-0006
大阪市中央区法円坂一丁目1番35号
アネックスパル法円坂内
TEL 06 (6940) 4181 FAX 06 (6943) 4661
E-mail: info@daishikyoo.or.jp
ホームページ: http://www.daishikyoo.or.jp

2023年

謹賀新年

令和5年



社会福祉法人 大阪府肢体不自由者協会
理事長 野間田 徹

「職場は、利用者と職員の間
笑顔であふれている」

新年あけましておめでとうございます。

皆さんは、高田郁さんの「みをつくし料理帖」や「あきない世傳(せいでん)金と銀」を読まれたことがおありでしょうか。いずれも江戸時代のなにと江戸を舞台にした時代小説であり、「天満天神社」や「天満橋」が登場するので、親しみやすさもあります。後者の「世傳」とは、代々続いていくという意味で、大坂天満の呉服商「五鈴屋」の江戸本店女店主となった「幸」の活躍を描いています。

「買うての幸い、売っての幸せ」。これは、物語の中で度々登場する商いの心構えです。商売人は、一番に「買う人の幸い」を考えて売りなさい。それすれば「売っての幸せ」がやってくる。物語の中で、良い時も悪い時も、この心構えに立ち返る主人公の姿が印象的です。

また、「商いを確かなものとするために必要なのは、身近なものを良く観察し、小さな機会を逃さない」蟻の目。そして、大きな時代の流れを読み解き、商いに繋げる「鴉(みさご)の目」だと。

これらの言葉の中には、マネジメントの基本的な姿勢があり、「もしドラッカーが「あきない世傳金と銀」を読んだら」、さぞ感心したのではないかと妄想してしまいます。

私も商いの心構えを肝に銘じ、一層法人運営に励みたいと思います。

利用者さんの笑顔こそが、私達の成果であり、私達の原動力です。今年も一年よろしくお願いたします。

大肢協 役員

理事長・事務局長	野間田 徹
理事・事務局次長	高瀬 修一
理事	田中 進
〃	松並 利行
〃	八尾 康典
〃	稲原 珠美
〃	堀 里香
監事	立花 保孝
〃	徳田 町子

※ホームページに「年頭所感」アップしました。



大阪府肢体不自由児者父母の会連合会
会長 松並 利行

「明けましておめでとうございます」

コロナで始まりコロナで暮れた年でした。

昨年5月25日に「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」が公布・施行されました。この法律は、全ての障害者があらゆる分野の活動に参加するためには、情報の十分な取得利用、円滑な意思疎通が極めて重要であることから、障害者による情報の取得利用、意思疎通に係る施策を総合的に推進することで、障害者の有無によって別け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重しながら共生する社会の実現に資することを目的として制定されました。障害者差別解消法にうたわれた「合理的配慮」を具体的に浸透させるための土台となるのが、情報やコミュニケーションが平等に提供されることです。いくら法律ができて、国民や当事者である障害のある人たちが、きちんと理解していなければ十分に活用することはできません。新年にあたり、この法律についてもうちど考えてみていただきたいと思います。この理念が社会に浸透すれば、必要な場面で手話や字幕、点字の提供などが飛躍的に広がり、障害のある人たちの情報格差が解消されることが期待されます。

今年度の干支は、春間近でつぼみが花開く直前である意味をもつ癸卯(みずのと)です。私も7回目の歳男を迎えます。『冬来たりなば春遠からじ』ということであらう時期を耐え抜けば幸せな時期は必ず来ます。皆様には今年こそ、よき年に成りますよう心よりご祈念申し上げます。

大肢連 役員

会長	松並 利行
副会長	藤木 連明
〃	徳田 町子
〃	南 朋子
事務局長	橋本 佳子
北摂ブロック長	竹内 久美子
北河内ブロック長	大村 和子
中河内ブロック長	木本 敏行
南河内ブロック長	林 恵子
阪南ブロック長兼事務局次長	藤井 かをり
堺市ブロック長	玉木 実千代
大阪市ブロック長	芹澤 佳子
事務局	三好 久恵
会計監査	有住 清美
〃	五十嵐 典子

大肢連 高速道路の障害者割引が登録車以外にも適用! 国との懇談会へ

事務局長 橋本 佳子

12月2日(金)、参議院議員会館にての国との懇談会に松並会長、事務局と3名で出席しました。全肢連から清水会長、石橋副会長、植松副会長にご出席いただき、色々とお話をいただきました。

厚生労働省障害福祉課の方とは調整がつかず欠席されたのは残念でしたが、国土交通省への長年の要望である「高速道路の障害者割引を登録車以外にも適用」に対して、令和4年度中には運用を開始すると明確な回答をいただきました。レンタカー等登録車以外で高速道路を利用の場合は、有人ゲートでの手続きのうえETCカードを利用する方向で調整中です。国へ要望を続けてきて、初めてうれしい回答

です。

重心のグループホームの整備、ヘルパーによる胃ろうの方への薬の投入や、障害年金の見直し等は例年と変わらない回答でしたが、全肢連からも障害者の実情や提案で後押ししていただき、3時間にも及ぶ懇談でしたが話が途切れることはありませんでした。

全肢連からの要望の「小児から成人期へ移行への仕組み作り」において、「移行期医療支援センター」の整備に頼るだけでなく、医療教育中から、障害者医療や移行期医療の必要性の話は、とても興味深く聞かせていただきました。

これからも、国に直接、私達の声を届けていきたいと思っております。



共に生きる社会をめざして

第56回 肢体不自由児者を支援する チャリティバザー

小規模で3年ぶりに開催！

後援

- 大阪府 社会福祉法人 大阪府肢体不自由者協会
社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
社会福祉法人 朝日新聞大阪厚生文化事業団
公益財団法人 毎日新聞大阪社会事業団
社会福祉法人 読売光と愛の事業団
社会福祉法人 産経新聞厚生文化事業団
社会福祉法人 NHK厚生文化事業団近畿支局

11月19日(土)、八尾市 山城町1丁目第1公園(通称:買物公園)にて、規模と時間を縮小し、感染対策をとりながら3年ぶりにチャリティバザーを開催いたしました。



会場は混雑を防ぐために一方通行にしたり、商品の陳列を工夫するなど初めての試みに少しバタバタしましたが、多くのお客様が来てくださり好評に終える事ができました。また、お手伝いの会員の方からは、久しぶりに皆に会えて楽しかったという声も聞け、新型コロナウイルス感染拡大の兆しのあるなか不安もありましたが開催し良かったと思います。

当日お手伝いに来てくださった会員の方々やボランティアの方、商品や寄付の協力をしてくださった団体、企業様には感謝申し上げます。今回は、規模を小さくするため商品の種類を減らしましたが、従来通りのバザーが行えることを楽しみに待っていますとおっしゃっていただきました団体、企業様にも重ね重ねお礼申し上げます。

今後も障がいのある子ども達のため精力的に活動して参りますので、皆様方の引き続きのご支援ご協力宜しくお願いいたします。

チャリティバザー実行委員長 南 朋子

バザー寄贈ご芳名

(順不同、敬称略)

企業関係

- 味の素(株)大阪支社
関西製糖(株)
サントリーホールディングス(株)
(株)ダイヤ
(株)堀内八郎兵衛

- 理研ビタミン(株)大阪支社
大阪タオル工業組合青年部会
大阪府家庭金物卸協同組合
中山福(株)
アピデ(株)

- 大阪靴メーカー協同組合
(株)カムサ
(株)サロンドグレー
大阪金物団地協同組合
(株)望月
(株)川嶋

- 井上定(株)
サンケーキコム(株)
(株)昭栄
(株)ロワール
(株)テライ



全肢連さわやかレクリエーション事業

各父母の会活動の活性化のための事業です。コロナ禍のなか、感染対策を取りながら3つの事業を行うことができました。

- 和泉市心身障がい児(者)手をつなぐ親の会
9月30日(金)「お楽しみ企画バスレクリエーション」参加者28名
リフト付きバスで神戸ポートミュージアム「アトア」へ。現地では時間を十分にとつての自由行動とし、見学・体験・買い物などを個々に楽しんでいただきました。
昼食は萬寿殿で中華ランチコースをいただきました。



- 東大阪市肢体不自由児者父母の会
11月25日(金)「冬期レクリエーション」参加者10名
大江戸温泉物語・箕面観光ホテルへバスツアーに行きました。オミクロン株になり、作業所の閉所も増え、参加者が少なくなっていました。
ランチバイキングはホテルの方のご配慮で、ゆっくり料理を選ぶことができ、その後は散策や入浴を各々楽しみました。
紅葉真盛り、しかも快晴の中すっきりリフレッシュできた一日でした。



- 淀川区肢体不自由児者父母の会
10月26日(水)「日帰り旅行」参加者13名
秋晴れのさわやかな日、大阪城に行きロードトレインに乗りました。昼食はホテルでのランチバイキングを堪能し、その後、新築された中之島美術館でパリの画家の作品を鑑賞して目の保養をしました。



近畿ブロック地域指導者育成セミナー報告 「車いす等利用時のシーティング」について

堺市 玉木 実千代

10月15日(土)、奈良県文化会館にて今年度の近畿ブロック地域指導者育成セミナーが開催され、大阪から5名が参加いたしました。講師は、外国で長年勉強されたシーティングスペシャリスト、一般財団法人日本車椅子シーティング財団理事の山崎泰広氏です。

シーティングの目的は個別の目的を設定し、変形の予防、悪化の防止、ずり落ち姿勢や片側に傾く姿勢の改善、褥瘡の予防と再発防止等ということです。シーティングで残された機能を最大限に活かせるような良い姿勢を保ち、二次障害を予防すること等の講演を聞きました。午後には、車いすで良い姿勢を保つには正しい骨盤の位置が土台ということで、障害者の方々が実際に骨盤の保持と傾きの改善を体験されました。

大肢協 守口障害者支援センター「ひだまり」

所長 堀 里香

夏よりスタートした増改築工事は順調に進み予定通り11月1日(火)に上棟式を行うことができました。

当日は雨模様でしたが、施工会社に車椅子用スロープを作っていただき、当初より事業所が希望していた「上棟式はご利用者様と一緒に」を叶えることができました。

初めて建物内に入ったご利用者様は広さに驚き歓声を上げて喜ばれていました。

またご利用者全員、協会本部、設計、施工会社、職員が無事に上棟式を迎えたことに感謝し餅撒きを行い、安全に完成することを祈り、振る舞いぜんざいをいただきました。



社会参加等事業

招待事業

日産労連チャリティー公演

12月12日(月)、堺市のビッグ・アイ(国際障害者交流センター)で日産労連さんと特定非営利活動法人日産労連NPOセンター「ゆうらいふ21」さんから「第46回クリスマスチャリティー公演 人間になりたがった猫(劇団四季ミュージカル)」の招待を受けました。

この招待も3年ぶりで劇団四季のミュージカルを大きな舞台上で観られるということで大肢協からは40名の参加がありました。

今回のミュージカルは人間になりたがった猫が主役で、子供から大人までわかりやすくときにコミカルで楽しめる内容でした。

キャストの歌や踊りは華麗で、舞台演出も圧巻で皆さん2時間の公演を思う存分楽しめたことと思います。

紙面をお借りしまして、今回のご招待に感謝申し上げます。ありがとうございました。



大肢協 友の会クリスマス会 3年ぶりの開催

大阪府受託事業 日帰りレクリエーション 「神戸アトア水族館と神戸ハーバーランド散策」

10月22日(土)秋晴れの下、総勢55名(リフト付観光バス2台)で神戸方面へ行きました。

コロナ禍ではありましたが、感染症対策をしっかりと講じ行うことができました。

神戸アトア水族館はアクアリウムとアートが融合した新感覚の水族館です。

巨大な円球型の水槽は圧巻です。「和」を基調としたフロアでは光・音・香りなど、五感で観るアートなアクアで、いたるところで皆さんシャッターを切っていました。



昼食は元町のイタリアンレストランでピュッフェです。

パスタやピッツァも種類が豊富で、デザートも鮮やかで、とてもおいしかったです。

最後はハーバーランドに戻り、MOSAICにて神戸土産を両手いっぱいに入っていました。

参加者の感想

久しぶりの神戸でした。親子での外出でしたのでとても楽しかったです。知らない人がほとんどでしたが、皆お互い様でバスのなかも和気あいあいでした。

お天気も良く、水族館もモザイク広場も最高でした。このような世の中ですが、子どものおかげであちこちと参加できてよかったです。

東大阪市 下田 育美



12月17日(土)大阪市中央区アネックスパル法円坂にて「友の会クリスマス会」が開催されました。

参加者は、ボランティアさんを含め60名でした。

3年ぶりの開催と言うことで、参加された皆さんはたいへん喜んでおられました。

今回のクリスマス会は内容が少し変わり、元保育士のデュオ「あまゆうず」さんにクリスマスソングやオリジナルソングを披露していただきました。

参加者の中には知っている曲が流れると席を立ち、のりのりで踊りだす方もいました。

また、タップダンスパフォーマーの「Rin」さんによる迫力あるタップダンスショーとバルーンアートや手話ソングもあり会場は盛り上がりました。

恒例のピンゴ大会もはずれなしの景品に皆さん充実した時間を過ごせた様子でした。

父母の会だより

寝屋川市肢体不自由児者父母の会

会長 岸谷 洋子

当会は、会員21名で活動しています。

毎月1回役員会を開催し、各々の現状や行事等について話し合っています。

若い会員さんは放課後等デイサービスなどの福祉サービスが充実しているということで働きにも行かれていてとりわけ問題は上がってきませんが、昨年11月に開催された全肢連の「重度障害者(医療的ケア含む)が地域で格差なく暮らせる社会の創造」のシンポジウムには5名ほどの参加をされ、関心の高さがうかがわれました。

少し年齢の高い会員は、親亡きあとのことが心配だということです。地域や大肢連とも連携し、安心して子供を任せることができる施設やグループホームが一つでも多くできるよう活動を続けていきたいと思ひます。

第56回近畿肢体不自由児者父母の会福祉大会 滋賀県にて開催!

中河内ブロック長 木本 敏行

11月6日(日)、守山市生涯学習会館にて3年ぶりに開催された近畿福祉大会に、全体では90名、大阪からは18名が参加しました。

「重層的支援体制とは何か～住み慣れた地域で共生社会の実現に向けて」というテーマでシンポジウムが行なわれました。

1人目は、滋賀県障害児協会の遠藤地域支援部長による重度障害者対応のグループホーム(GH)「ぼのハウス」で実施している法人内のヘルパーステーションを利用した訪問看護や、利用者の笑顔を引き出す研修などについての話でした。

2人目は非営利特定活動法人「うずりん」理事長 高橋昭彦氏(小児科医師)による「医療的ケア支援法」成立が果たす共生社会の話でした。

まず、家で過ごす「医療的ケア児」が増えているにもかかわらず、必要な福祉サービス体制が整っていないことを指摘されました。「うずりん」では、やりたいと思っていることをあきらめずその年齢の子どもなら経験するであろうことを一つずつ経験させることで子どもの成長と豊かな暮らしにつなげることをめざしているとのことでした。

重度障害者対応のGHが重要であること、そして「医療的ケア児支援法」成立を契機としてさらなる共生社会を進めるという大会決議を採択しました。

大肢連 20歳の成人おめでとございます!

大肢連より下記の16名の方々にささやかなプレゼントをお渡ししました。

(敬称略)

◆堺市父母の会

井 脇 悠
 沖 野 有 彩
 小 寺 亜海沙
 徳 田 琉 衣
 平 井 史 佳
 金 谷 威 徳
 樋 口 航 太
 上 田 簾 梓
 吉 行 梓

◆岸和田市父母の会

上 中 直 哉
 岸 田 瑠 果
 永 井 択 磨
 藤 島 龍之介
 柳 本 隼

◆池田市父母の会

山 田 深 鈴

◆八尾市父母の会

藤 井 光 稀



大肢連 大肢協 障害者週間(12月3日～9日)啓発活動

12月7日(水)、京橋駅前の広場にて大肢連役員・会員と大阪府肢体不自由者協会 野間田理事長と7名で啓発活動を行いました。コロナ禍ではありましたが手袋を着用しクリップや押しピンを配布しました。学生の方など、多くの方より励ましの言葉をいただきました。

大肢連事務局次長 藤井 かをり



主な行事(1月～3月)

★成人式

1月13日(金) 堺市肢体不自由児(者)父母の会

★日帰りレクリエーション「いちご狩り」(大阪府受託事業)

2月18日(土)・2月25日(土) いちご畑 はる (岸和田市)

★理事会(大肢協)

3月下旬 アネックスパル法円坂

★大肢連研修会

未定

※行事は変更になることがありますのでご了承ください。



【大肢協で協力深謝】
 (順不同、敬称略)
 令和四年十月一日
 十二月三十一日現在
 寄付金 二四七、九〇二円
 シービーアールイー(株)関西支社
 リーガロイヤルホテル管理部
 法音寺和泉支院
 中央区民生委員児童委員協議会

